

橋梁の洗掘対策により鉄道の安全・安定輸送を確保 (大阪府泉南市、阪南市)

事業者：南海電気鉄道株式会社



対策後



対策前 (H29被災時)

南海本線 男里川橋梁 (橋脚の洗掘対策を実施)



対策名：No.146 豪雨による鉄道河川橋梁の流失・傾斜に関する緊急対策

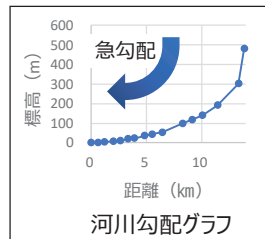
事業名：鉄道施設総合安全対策事業 (豪雨対策)

- ポイント**
- 3か年緊急対策により鉄道河川橋梁の抜本的な洗掘対策を実施
 - 抜本的な対策により鉄道の安全安定輸送を確保

地域の概要・課題

男里川は、大阪府泉南市と阪南市との境を流れ、大阪湾に注ぐ二級河川であり、急こう配なのが特徴です。

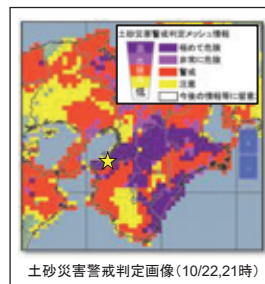
頻りに水位が上昇している状況が観測され、本河川に位置する男里川橋梁は、砂州の浸食による河床低下により、洗掘を受けやすい状態でありました。



事業の概要

平成29年10月に発生した台風21号に伴う連続雨量216mm、時間最大降水量21mmもの急速な増水により、橋梁部の洗掘が発生し橋脚が傾斜しました。

3か年緊急対策として自社施工範囲と併せて橋りょう全長の洗掘対策（護床ブロックの設置）を実施しました。



【見込まれる効果】

令和2年度7月豪雨では連続雨量120mm、時間最大降水量27mmを観測しましたが、橋りょうの傾斜等の変状は発生しませんでした。

また、洗掘対策として実施した護床ブロックの設置につきましては、男里川の計画高水流量の流水に対して、十分に安全な構造となる設計となっております。

